



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 マーベラスAQL

上場取引所 東

コード番号 7844 URL <http://www.maql.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 許田 周一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理統括本部長 (氏名) 山角 信行

TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,666	20.8	2,160	25.9	2,231	33.4	1,392	0.5
25年3月期第3四半期	12,143	93.9	1,715	248.0	1,673	255.8	1,386	△43.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,408百万円 (1.6%) 25年3月期第3四半期 1,387百万円 (△43.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.05	—
25年3月期第3四半期	25.93	—

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算出してしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	16,254	11,435	70.4	213.92
25年3月期	15,341	10,694	69.7	200.07

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 11,435百万円 25年3月期 10,694百万円

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算出してしております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,250.00	1,250.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金1,250円00銭の内訳は、普通配当1,200円00銭、東証一部上場記念配当50円00銭です。また、当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、平成26年3月期(予想)の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	13.8	2,900	24.5	2,890	24.3	1,770	△7.8	33.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、平成26年3月期(予想)における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	53,593,100 株	25年3月期	53,593,100 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	138,000 株	25年3月期	138,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	53,455,100 株	25年3月期3Q	53,455,100 株

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、ソーシャルゲーム市場の成長率に鈍化傾向が見られましたが、スマートフォンの急速な普及により、従来型のWebブラウザゲームに加えて、スマートフォンにインストールして遊べるアプリゲーム市場が急拡大いたしました。また、家庭用ゲーム市場におきましては、欧米で先行発売された新型の据え置き型ゲーム機が非常に好調な売上を記録しており、ゲーム専用機の潜在需要も改めて確認されました。音楽・映像分野では、スマートフォンの浸透に伴う無料動画サイト等の充実から、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。一方で、会場の雰囲気や一体感を楽しむことができるライブエンターテインメントは、その市場規模を着実に拡大させております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核としたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）の業績は、売上高14,666百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益2,160百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益2,231百万円（前年同期比33.4%増）、四半期純利益1,392百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①オンライン事業

当事業のPCブラウザゲームにおきましては、「ブラウザ三国志」をはじめとする主力タイトルが引き続き健闘しておりますが、リリースからの年月経過や、市場自体の縮小傾向に伴うかたちで、収益面では前年同期を下回る結果となりました。モバイルゲームにおきましては、前期から好調の「一騎当千バーストファイト」、「閃乱カグラ NewWave」に続きまして、平成25年9月リリースの「ハイスクールD×D」が順調に立ち上がりました。また、LINE向け初のタイトルとなる「LINE らんらん勇者」を平成25年11月に、PCゲームでも根強い人気を誇る「剣と魔法のログレス」のネイティブアプリ版を平成25年12月にリリースいたしました。しかしながら、会員数の伸びに比例せず、課金売上に繋がらなかった「コインサーガ」や「聖戦ドラゴンオーブ」の推移が芳しくなく、結果として、サービス停止による開発費の一括償却を行っております。

これらの結果、売上高は6,267百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は408百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

#### ②コンシューマ事業

当事業の自社販売部門におきましては、平成25年5月発売の「ヴァルハラナイツ3（PS Vita）」が順調な販売となりました。また、前期発売の「閃乱カグラSHINOVI VERSUS -少女達の証明-（PS Vita）」や「隴村正（PS Vita）」、その他の旧作リピーター受注も好調に推移いたしました。海外事業につきましても、米子国会社 Marvelous USA, Inc. の販売が順調に推移いたしました。

アミューズメント部門につきましては、平成24年7月に稼働を開始した、キッズアミューズメント筐体の「ポケモンレッタ」が好調を継続しており、当事業の収益に大きく貢献いたしました。

これらの結果、売上高は5,424百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は1,812百万円（前年同期比51.5%増）となりました。

#### ③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズのTVアニメ「ドキドキ！プリキュア」や当社主幹事作品のTVアニメ「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」の映像商品化を行い、いずれも順調な推移となりました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計134公演分の実績を計上し、関連DVDを6作品発売いたしました。また、「舞台『弱虫ペダル』」や「ミュージカル『薄桜鬼』」も当事業の主力シリーズとして、舞台公演と関連DVDの両方が収益に貢献しております。

これらの結果、売上高は2,974百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は639百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産16,254百万円（前連結会計年度末比912百万円増）、負債4,818百万円（前連結会計年度末比171百万円増）、純資産11,435百万円（前連結会計年度末比740百万円増）となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加ならびにたな卸資産の増加等により13,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,219百万円増加いたしました。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、投資有価証券の売却等により2,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、借入金等の返済による減少のほか、未払法人税等の増加等により4,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1年内返済予定の長期借入金への振替等により58百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益の累積が前連結会計年度の期末配当による剰余金の減少を上回った結果、11,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ740百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,123,957	7,710,510
受取手形及び売掛金	3,515,610	3,726,702
電子記録債権	28,386	42,430
有価証券	—	73,899
たな卸資産	957,674	1,467,566
その他	1,013,380	860,640
貸倒引当金	△45,541	△68,967
流動資産合計	12,593,467	13,812,781
固定資産		
有形固定資産	611,596	565,073
無形固定資産		
のれん	227,096	145,967
その他	1,141,852	1,248,591
無形固定資産合計	1,368,949	1,394,559
投資その他の資産	876,858	604,707
貸倒引当金	△108,989	△122,941
固定資産合計	2,748,415	2,441,399
資産合計	15,341,883	16,254,180
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	769,468	686,030
短期借入金	602,005	590,740
1年内返済予定の長期借入金	180,503	74,403
未払印税	965,837	951,201
未払法人税等	226,863	691,139
引当金	126,214	—
その他	1,699,746	1,766,684
流動負債合計	4,570,637	4,760,199
固定負債		
長期借入金	64,520	44,584
資産除去債務	12,059	14,058
固定負債合計	76,579	58,642
負債合計	4,647,217	4,818,841

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128,472	1,128,472
資本剰余金	6,373,514	6,373,514
利益剰余金	3,226,614	3,950,766
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	10,700,875	11,425,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	35
為替換算調整勘定	△6,220	10,275
その他の包括利益累計額合計	△6,209	10,311
純資産合計	10,694,665	11,435,339
負債純資産合計	15,341,883	16,254,180

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	12,143,897	14,666,345
売上原価	6,221,182	7,410,217
売上総利益	5,922,714	7,256,127
販売費及び一般管理費	4,207,184	5,095,756
営業利益	1,715,530	2,160,370
営業外収益		
受取利息	4,229	1,982
為替差益	28,423	74,481
その他	2,966	4,117
営業外収益合計	35,619	80,581
営業外費用		
支払利息	9,973	6,836
持分法による投資損失	67,139	—
貸倒引当金繰入額	—	1,948
その他	969	238
営業外費用合計	78,081	9,023
経常利益	1,673,067	2,231,928
特別利益		
投資有価証券売却益	—	37,469
特別利益合計	—	37,469
特別損失		
固定資産売却損	—	197
減損損失	—	49,374
和解金	—	49,905
特別損失合計	—	99,476
税金等調整前四半期純利益	1,673,067	2,169,920
法人税等	287,013	777,580
少数株主損益調整前四半期純利益	1,386,054	1,392,340
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,386,054	1,392,340
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	1,386,054	1,392,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282	24
為替換算調整勘定	3,174	13,206
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,710	3,290
その他の包括利益合計	1,181	16,521
四半期包括利益	1,387,236	1,408,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387,236	1,408,862
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	オンライン事業	コンシューマ事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,276,417	4,463,815	2,403,664	12,143,897	—	12,143,897
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,525	1,525	△1,525	—
計	5,276,417	4,463,815	2,405,189	12,145,422	△1,525	12,143,897
セグメント利益	632,773	1,196,424	538,638	2,367,837	△652,307	1,715,530

(注) 1 セグメント利益の調整額△652,307千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注) 2
	オンライン事業	コンシューマ事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,267,959	5,424,525	2,973,860	14,666,345	—	14,666,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	640	640	△640	—
計	6,267,959	5,424,525	2,974,500	14,666,985	△640	14,666,345
セグメント利益	408,191	1,812,447	639,129	2,859,769	△699,399	2,160,370

(注) 1 セグメント利益の調整額△699,399千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の連結子会社であるMarvelous USA, Inc. が前連結会計年度にIndex Digital Media, Inc. のオンラインゲーム事業を取得したことにより発生した「オンライン事業」に係るのれんについて、49,374千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「オンライン事業」において、上記「固定資産に係る重要な減損損失」に記載した減損損失の計上により、のれんが49,374千円減少しております。